



学校便り 11月号

校長 村山 孝

「芸術の秋！スポーツの秋！体験の秋！」

副校長 今野 美穂

朝晩の寒さを感じられる季節となりました。「秋」は、行事の秋、芸術の秋、スポーツの秋など、様々な活動に適した季節でもあります。

「芸術の秋」として、本校の芸術活動を2つ紹介させていただきます。1つ目は、「第8回 東京都特別支援学校 アートプロジェクト展」に本校2年高野 日菜子さんの平面作品「自然のグラデーション」が展示されることになりました。この展示にあたっては、まず校内選考を行い、他の作品とともに学校の代表作品として応募しました。毎年、都内の各特別支援学校から多数の応募があるため、審査を通過することがとても難しいのですが、1次審査・2次審査を通過して、高野さんの作品が今回展示されることになりました。高野さん、おめでとうございます。作品は、令和6年1月6日（土）から1月12日（金）まで及び1月15日（月）から1月17日（水）までの10日間、東京藝術大学大学美術館陳列館で展示されますので、ぜひ、ご覧ください。

2つ目は、今年度も都立田無高等学校文化祭（9月15日（金）・16日（土）に開催）に、本校生徒の美術作品等が展示されました。昨年度と同様、感染症対策のため、関係者以外の見学はできませんでしたが、美術作品等は、玄関を入れてすぐの場所に展示されたため、多くの生徒の皆さんに見ていただきました。

「行事の秋」では、1年生が10月18日（水）～20日（金）の二泊三日、移動教室で山梨県に行ってきました。日々の学校生活も、集団で生活する場ですが、移動教室では、寝食を共にし、一緒に行動するため、お互いに言葉を掛け合ったり、時間を意識して行動したりしながら、様々な活動に取り組みました。特に、印象的だったのが、二日目の「ほうとう作り」でした。家庭科の調理の時間で、何度かほうとう作りを行ったこともあり、当日は、各自の役割を意識し、お互いに言葉を掛け合いながら調理しました。校外での初めての調理でしたので、少し心配していましたが、当日は、友達や先生としっかり協力できたため、予定時間より早く出来上がり、昼食で美味しくいただきました。日頃の学習の積み重ねは、場所が変わっても十分に力を発揮できること、また、協力する大切さを改めて感じる事ができた貴重な活動でした。

最後に、「スポーツの秋！」については、5の「スポーツ推進事業」でFC東京の皆さんとの交流が書かれていますので、ご覧ください。

様々な「秋」の活動をとおして、更に学びを深めています。



↑ 2年高野さんの
展示作品
← 田無高での
作品展示



～10月から学校の留守番電話対応時間が変更となっています～

9月13日にお知らせしたとおり、10月2日（月）より、平日の学校の留守番電話対応時間が、変更となっております。

平日は、午後5時15分から翌日の午前8時15分までが留守番対応時間となります。休日及び午後5時15分以降の緊急連絡（怪我・行方不明等）は、学校携帯1での対応となります。

*留守番電話につながった際は、「学年・組・保護者氏名、用件」をお伝えください。

なお、午後5時15分以降の欠席連絡等は、引き続き、翌日以降に学校へ御連絡ください。

<お知らせ>

1 支援部より

◆1年生保護者向け Vineland II 説明会

10月4日（水）1年生保護者向けに「Vineland II 報告書および説明資料」を配布しました。以下、臨床心理士より、解説いただいている内容です。

Vineland-II 適応行動尺度

○適応行動 日常生活を安全かつ自立的に送るために必要となる年齢相応のスキル
食事、身だしなみ、掃除、お金の管理、仕事、友人関係、社会的スキルなど

○不適応行動 ストレスへの不適切な対処行動として表れ、本人に不利な結果をもたらす行動

具体的な支援の方法について

- できているところ、得意なところをさらに伸ばす。
- できているところ、得意なところを支援に活用する。
- 経験不足のところは、支援をしながら機会を増やす。
- 苦手なところは、周りが支援や配慮をする。工夫する。

ご覧いただくにあたり大切なことは、子供たちの特異なところと苦手なところをありのまま把握することです。アセスメントはジャッジするものではなく、お子さんの特性を様々な角度から把握することを目的とするものです。アセスメントを受けることで、お子さんの新たな強みや支援の必要なポイントが分かります。

◆学校公開について

10月11日（水）2回目の学校公開を実施しました。78名の近隣の地域の方、次年度の入学希望者を除く進路を視野に入れた小中学生とその保護者の方々が来校し、授業の様子を参観しました。



◆都立版エリアネットワーク高等学校訪問

昨年度より東京都の取り組みとして始まった都立版エリアネットワークにおいて、特別支援教育を推進するため、近隣5校の高等学校に本校特別支援教育コーディネーターが訪問しています。合理的配慮の方法など高等学校でも必要となる支援について情報を共有する活動をしています。

2 進路指導部より

◆小金井特別支援学校での外部清掃活動

10月4日(水)午前中、2年生ビジネスチャレンジ班(清掃班)の4名が、小金井特別支援学校に外部清掃に行ってきました。中学部2年生のインターンシップ第1弾として、先輩達が働く姿を見学する活動でした。2年生は外部清掃が初めてであったため、とても緊張していました。それでも日頃から作業学習で取り組んでいる挨拶や、基本清掃を堂々で行うことができました。今回は廊下清掃、階段清掃、窓清掃を行いました。終わってから中学部の生徒さんから「かっこよかったあ」という感想をもらい、ほっと表情が緩んだ笑顔がとても印象的でした。

第2弾は、3年生が中学部の生徒さんに清掃技術を教えるという、さらにレベルアップした活動になります。本校の生徒にとっても貴重な学習となりました。

◆保護者向け進路学習会～障害のある方のライフステージ～

10月4日(水)第4回保護者向け進路学習会を実施しました。講師は、特定非営利活動法人 秋川流域生活支援ネットワーク理事長 藤間英之氏をお招きし、卒業後の長い人生においてどういったことが起こるのかを知り、中長期的な未来を想像してみる学習会となりました。学習会の中で、いただいた質問について回答をいただきました。

Q：グループホーム利用をした場合に、通院同行はしてもらえるのか？

A：共同生活援助(グループホーム)を行う住居の入居者が慢性疾患等の障害者であって、医師の指示により、定期的に通院を必要とする者である場合に限り、居宅介護における通院等介助や通院等乗降介助を利用することができる。

まだまだ先の事ではありますが、ライフステージ全体を知ることで、改めて今を見つめるきっかけとなれば幸いです。

3 生活指導部より

◆ふれあい月間について

11月は、今年度2回目のふれあい月間(いじめ防止)です。生徒一人一人にアンケートと聞き取り・相談を行います。困っていることや友人関係についてなど、悩み事があれば相談をしてください。

◆11月避難訓練について

11月1日(水)の避難訓練では、風水害による学校の浸水被害を想定して、1階の教室で授業を行っている学級やグループが上層階避難を実施します。西東京市浸水ハザードマップでは、本校の敷地の一部が浸水予想区域(対象降雨(時間最大雨量153mm、総雨量690mm)で0.5~1.0mの浸水)に指定されています。本校学区域でも、各市のハザードマップで浸水予想区域や土砂災害警戒区域があり、線状降雨帯などの大雨の際には、災害が発生する可能性があります。御家庭でも、地域のハザードマップやマイ・タイムラインについて話題にさせていただき、風水害に対する備えをお願いいたします。

◆防災教育推進委員会について

10月4日(水)に西東京市消防署田無出張所長、田無警察警備課長、小金井公園サービスセンター副センター長、本校PTA副会長をお招きし、第2回防災教育推進委員会を行いました。総合防災訓練と宿泊防災訓練の報告、地域の防災に関する協議と御助言をいただきました。災害発生時の対応、地域との協力、連携を引き続き行ってまいります。

4 図書委員より

◆図書委員による新システムでの図書の貸し出し開始

いよいよ新システムでの図書の貸し出しを開始しました。各学年の図書委員が、バーコードリーダーを使って、利用者と図書のバーコードを読み取り、貸出、返却をしています。始めは手間取る場面もありましたが、今ではバーコードを読み取った後、パソコン画面で入力されているのを確認する様子も見られるようになりました。「何年何組ですか？お名前お願いします。」「1週間後に返却お願いします。」などの言葉もスムーズに出てくるようになりました。新しい本もたくさん入り、利用者の数も増加しています。今後も、図書館の充実と、図書委員が活躍できるよう支援してまいります。

5 スポーツ推進事業より

令和5年10月24日(火)、スポーツ推進教育として、FC東京の講師をお招きして交流学习を実施しました。活動の中には、サッカーの特性であるボールを蹴るということにとらわれず、持ったボールと他の人が持っているボールが触れた時に「こんにちは」と挨拶をしたり、準備運動の中にボールを使った運動(ストレッチ)を取り入れたりすることで、本校生徒はサッカーボールに対して苦手意識をもつことなく取り組むことができました。活動後「楽しかった！」と笑顔のあふれる交流になりました。活動の最後には全員で記念撮影も行っています。